

**前期**

**05.08.17**

**2024（令和6）年度**

**人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域  
試験問題表紙**

(3年以上の教職経験を有する者)

**解答上の注意**

1. 表紙1枚、問題用紙3枚、解答用紙4枚あるかどうかを確認のこと。
2. 問題1, 2, 3, 4の全てに解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に解答すること。
4. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
5. 試験終了後は、解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は持ち帰ること。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題

問題用紙全3枚（その1）

（3年以上の教職経験を有する者）

**問題 1** 心理学の研究法に関する以下の問い合わせに答えなさい。

問1 (1) 心理尺度に求められる信頼性について説明しなさい。

(2) 信頼性を検討する方法を二つ挙げ、それぞれについて簡潔に説明しなさい。

問2 面接調査における半構造化面接とはどのような手法を指すか、説明しなさい。

**問題 2** コミュニティ・アプローチに関する以下の問い合わせに答えなさい。

問1 メンタルヘルスの問題に対する一次予防、二次予防、三次予防とはそれぞれ何を指すか、簡潔に説明しなさい。

問2 (1) 自助グループとは何かについて説明しなさい。

(2) 自助グループのはたらきについて説明しなさい。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題

問題用紙全4枚(その2)

(3年以上の教職経験を有する者)

問題 3 問1～問12の( )の中に入る適切な語句を答えなさい。

- 問1 Gesell, A.L.は、「一卵性双生児」の実験を行った結果から、「人は適切な(①)を待たなければ、教育や訓練の効果はない」という(①)優位説を提唱した。
- 問2 同じ課題についてそれぞれ独立に行われた研究の結果を統合して、その研究課題についての総合的な結論を導く研究法がある。(②)とは、個々の研究における統計的分析の結果を元に、さらに統計的に分析を行う方法である。
- 問3 フットインザドアは最初に小さな要求に承諾してもらった後で大きな要求をすることであり、(③)は最初に大きな要求を拒否させた後で比較的小さな要求をすることである。
- 問4 長期記憶には宣言的記憶と手続き記憶があり、さらに宣言的記憶は(④)記憶と意味記憶に分類される。(④)記憶は、個人の経験のような5W1Hで表せる記憶のことである。
- 問5 乳児が母親との一体感から徐々に分離していく過程について、Mahler, M.S.は正常な自閉期、正常な共生期、そして分離・個体化期に分けた。さらに、分離・個体化期を、分化期、練習期、(⑤)、再個体化期の4つに分けた。(⑤)の時期に最も分離不安が高まる。
- 問6 日常的によく経験するような欲求不満場面が描かれたカードに対する反応を障害優位型、要求固執型、自己防衛型という3つの攻撃の型と、内罰型、外罰型、無罰型という3つの攻撃の方向に分類する投影法検査は(⑥)である。
- 問7 事故や災害などの危機的出来事に見舞われた人々に対して、支援者が心理社会的支援を提供できるよう、WHOなどが提唱しているガイドラインは(⑦)と呼ばれている。
- 問8 ソリューションフォーカストアプローチの技法の一つである(⑧)では、「奇跡が起こって、あなたが抱えている問題がすべて解決したと想像してください」などと非現実的な質問を投げかける。
- 問9 Perls, F.S.によって提唱された(⑨)療法では、意識できる世界を「図」、意識できない世界を「地」と考え、こうした「図と地」の関係を理解し全体としてまとめていくことを目指している。
- 問10 森田療法は、不安を異常と見なし取り除こうとするのではなく、不安があるのは人として自然なことだと認め、不安との共存を目指している。この療法は、不安を「(⑩)」に受け入れる点に特徴がある。
- 問11 平成25年に制定された「(⑪)防止対策推進法」の第28条第1項「重大事態への対処」では、(⑪)により「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、(⑪)により「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」、の2つが挙げられている。
- 問12 クライエントと友人や恋人として個人的に交流したりなど、要支援者との間に専門的契約関係以外の別の関係をもつことは(⑫)と呼ばれ、カウンセラーの職業倫理として禁止されている。

人間教育専攻心理臨床コース臨床心理学領域試験問題  
問題用紙全3枚（その3）  
(3年以上の教職経験を有する者)

**問題 4** 児童生徒が学校でクラスメイトにいじめられている場合に、いじめられていることを自分の親に相談できないことがある。その児童生徒の心の様相に焦点を当てながら、想定され得る理由を3つ挙げ、それぞれについて論じなさい。

なお特定の校種（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校など）を念頭に置いている場合には、その旨を明記しなさい。

令和5年8月17日(木)に実施した専門に関する科目「人間教育専攻心理臨床コース  
臨床心理学領域」の「問題3の問7」が、正答が複数存在する設問でした。

については、当該設問は、全員正解として扱うこととしましたので、お知らせします。